

# 山城



## 京田辺「まるごと体験」

ツアー、市外の家族連れら楽しむ

### 茶摘みや玉露入れ方教室

京田辺市の魅力を実感がもたらう「京田辺まるごと体験ツアー」が、茶摘みや特産の玉

露の入れ方教室など、新茶の季節にちなんだ行程を楽しんだ。

同市の農業者、福祉事業所、観光・商工関係者らで2020年に発足した「京田辺農福観地域づくり協議会」の主催。同年第1回ツアーは黒豆の収穫が目玉だったが、今回はお茶などに関するスポットを、宇治市や城陽市、京都市などから参加した9人がジャンボタクシーで巡った。同市の障害者事業所「さんさん山城」が抹

▲急須を使って玉露を入れる体験を楽しむ親子連れら(京田辺市興戸・さんさん山城)



仏事の事ならなんなりと



京 仏壇 眞

誠

■城陽本店 アルプラザ平和堂城陽店前  
■京田辺店 田辺警察署東側

茶の原料となる碾茶を育てる茶畑で茶摘みを体験した後、事業所に移動。玉露の入れ方を、同市の茶製造・販売会社「舞妓の茶本舗」社員の中坊敏也さん(48)に教わった。

参加者は使う茶葉の量、湯の温度、待ち時間の3点が大切だと聞いた後、急須に5gの茶葉を入れ、40度の湯を茶葉と同じぐらいの高さまで注ぎ、味わった。大阪府枚方市の大谷学講師、小林基さん(31)は「玉露を飲んだのは初めてで、だしのような味に驚いた。コーヒーをよく飲むが、今後は日本茶も楽しみたい」と話した。(相見昌範)